

パラグアイから世界を考える

氏名： 越智 由佳 学校名： 愛媛県立土居高等学校
 担当教科： 外国語(英語) 実践教科：外国語(コミュニケーション英語Ⅰ)
 時間数： 4時間 対象学年：高校1年 人数： 32人

【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標）：日本からパラグアイを知り、豊かな社会とは何かを考える

地球の向こう側にあるパラグアイについて知り、世界に目を向け、日本と異なる文化について学び、「豊かさとは何か」と踏まえ、社会の一員としてこれからの生き方を見ずえる。

【2】 単元の評価 規準例	(ア) 関心・意欲・態度	パラグアイを題材にして世界について学ぼうとしているか。
	(イ) 思考・判断・表現	学んだことを自分の言葉でまとめることができているか。
	(ウ) 技能	
	(エ) 知識・理解	パラグアイの現況や日系社会について理解できているか。
【3】 単元設定の理由	<p>教師海外研修で訪れたパラグアイを題材にして、世界に目を向けさせ、その上で、豊かさとはなにか考えさせたいと思った。パラグアイのカテウラ楽団を題材に、英語教材を、本校生徒にも理解しやすいよう平易な英文で作成して現地で撮影した写真を使用し、授業者の感じたことを追加して教材を作成した。</p> <p>また、日系社会に生きる日本語を学ぶ生徒たちに、事前に手紙を用意して持参し、手渡すことができたため、「パラグアイで生きる日本人」について知ってほしいと思った。</p> <p>そのほか、幸福度が高いと言われるパラグアイの生活を紹介しながら、私たちにとっての「豊かさ」について考えてみたいと思い、単元を設定した。</p> <p>生徒： 高校1年生 32名（男子 21名 女子 11名） 教材： パラグアイについては、教師が現地で記録したものを主に使用し、 「豊かさとは何か」については、開発教育協会の冊子にある教材を使用。 指導観： パラグアイについて知ってもらいたいとの思いと、そこから世界や自分たちの社会に思いをつなげていきたいと思った。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 児童/生徒観 ✓ 教材観 ✓ 指導観 		

【4】展開計画（全 4時間）

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	「パラグアイに行つて来ます」 授業者が研修でパラグアイに行くことになってことを利用し、パラグアイについて知り、向こうで暮らす日系の子どもたちに思いをはせる	<ul style="list-style-type: none"> —パラグアイの代表的な写真を見ながら、どのようなところか想像する（アンケート実施） ・ペアで付せんにかき、集計する —パラグアイに移住した日本人について知る ・パラグアイの日本語学校に通う生徒たちに、日本語で手紙を書いたり、折り紙を作ったりする ・パラグアイの生徒たちに配布できるように留意する 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント ・JICA 編 紙芝居 「海を渡つた日本人」
2	「パラグアイから帰つてきました」 —パラグアイについて知る(1) —パラグアイについて知る(2) —日系社会について知る	<ul style="list-style-type: none"> —持参した手紙や折り紙を渡した場面を見せる ・生徒たちが向こうの子供たちの存在を身近に感じることができるようにする —教科書で題材として取り上げられているカテウラ楽団について学ぶ ・カテウラ楽団について、平易な英文でまとめ教師が現地で撮つた写真を教材とする ・段落ごとにグループで紙芝居を作成する —日系社会について学ぶ ・パラグアイで撮つてきた写真や映像を中心としたパワーポイントを見せる ・移民船の様子を映像で見せる 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント ・カテウラ楽団についての英文 ・パワーポイント ・DVD 「夢と希望を運んだ船 ～移民船での暮らし」 ・パワーポイント
3 本時	「パラグアイについて知つたことを発表しよう」	<ul style="list-style-type: none"> —パラグアイの写真を使つたクイズを行う —班でまとめた「カテウラ楽団」についての発表を行う —移民した日本人に思いをよせた考えたトランクについて発表する 	<ul style="list-style-type: none"> パワーポイント ・班活動 ・評価シート 「海を渡つた日本人」
4 本時	「豊かな社会」について考える	<ul style="list-style-type: none"> —私にとって「豊かな社会」に大切なことを考える —カード「豊かな社会にとって大切なこと」を使い、各自が豊かな社会について考える —個人作業でカードを選び、理由を考える —グループでカードを選び、理由を考える —日本、そして世界が豊かな社会であるために、必要なことを話し合つて考える 	<ul style="list-style-type: none"> 開発教育協会 開発教育教材 「豊かさと開発」 ・カード

【5】 本時の展開 授業は2時間（100分）で行うものとする。			
過程時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (10分)	<p>1 限目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラグアイクイズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で学ぶ内容に興味を持たせる。 ・グループで色カードを1部ずつ持ち、積極的に参加できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント（自作）
展開 (80分)	<ul style="list-style-type: none"> ・パラグアイについての発表 <ul style="list-style-type: none"> －カテウラ楽団 ・日系社会について学ぶ <ul style="list-style-type: none"> －日系社会の知識をつける －自分たちが移住するなら、何を持っていくかを考えてみる －パラグアイの幸福度について考える <p>2 限目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「豊かな社会」のため大切なことを考える <ol style="list-style-type: none"> 1. 前時に考えた大切なものを振り返る 2. アイスブレイキング <ul style="list-style-type: none"> 4つの質問について自分の考えを「はい」「どちらかといえばはい」「どちらかといえはいえ」「いいえ」の4つの選択肢から選ぶ 2. アクティビティの流れと話し合いのルールを説明する 3. 個人作業で「大切なもの」を4つ選び、理由を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カテウラ楽団について英語でまとめたまのを教材として配布した。 ・グループでまとめた紙芝居を発表する ・世界で生きるということに関心を持たせる ・移住にもっていくもの、すなわち大切なものが何かを考えさせる <ul style="list-style-type: none"> ・グループで2つ大切なものを選んで描き、1枚の紙にまとめる <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の生活は豊かだと思うか。 2. 日本は豊かだと思うか。 3. パラグアイは豊かだと思うか。 4. 世界は豊かだと思うか。 <p>(ルール) 友達の話をしっかり聞く 考えを否定しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料 ・紙芝居 ・評価シート ・パワーポイント <ul style="list-style-type: none"> ・カード ・ワークシート

<p>まとめ (5分)</p>	<p>4. グループになり、「大切なもの」4つ選び、理由を書く。どのような社会が、自分たちにとって豊かなのかを考えて気づいたことをまとめる。</p>	<p>ワークシートに感想を記入する。</p>	
---------------------	--	------------------------	--

【授業実践の様子】（本時での写真を添付し、キャプションをつけて下さい）



パラグアイに関するクイズを行った

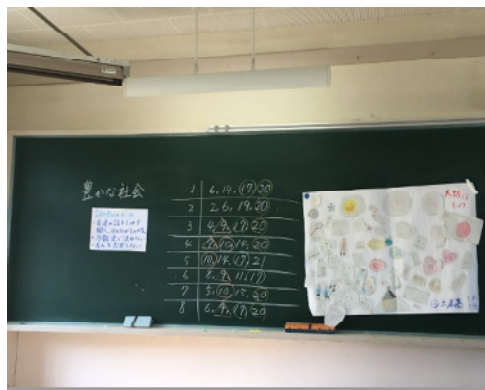


パラグアイ移民について資料を提示しながら学習した。

(左 「海を渡った日本人—移民船」 中 パラグアイ読本 右「海を渡った日本人よりトランク」)

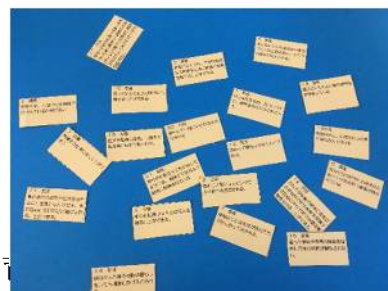
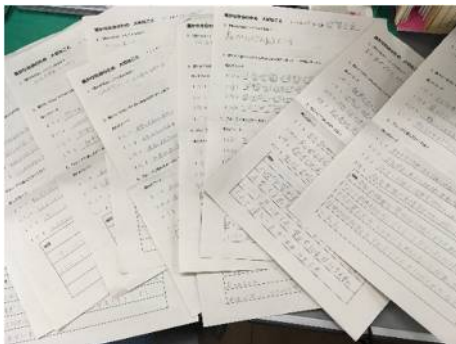


カテウラ楽団について班でまとめたものを発表した



左 パラグアイの高校生の大切なものと、私たちの大切なものを比較した

右 班ごとに豊かな社会について話し合っ4つ選び、理由も 発表した。



左 授業の終わりに生徒が感想を書いたもの

中 開発教

発」

右 「豊かな社会」についてのカード

【6】 本時の振り返り	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の準備などを積極的に生徒が行ってくれて、アクティブラーニングの入門ができたように思う。 ・普段、世界に目を向けることのない生徒たちに少しでも海外に目を向けさせることができてよかったと思った。 	
【7】 単元を通した児童生徒の反応/変化	
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の授業で、豊かな社会にするためには、いろいろなことが大切なんだとわかった。 ・遠いパラグアイの高校生と、私たち日本の高校生が同じものを大切だと思っていることがわかった。 	
【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲があれば記載下さい】	
<ul style="list-style-type: none"> ・また機会があれば、こういうふうな活動して学べる授業を受けて、みんなの意見が聞きたいと思った。 ・パラグアイだけではなく、世界のほかの国についても知りたいと思った。 	
【途上国・異文化への意識の変容について記載下さい】	
(授業前)	
<ul style="list-style-type: none"> ・パラグアイについてほとんど知らなかった。 ・パラグアイは貧しくてかわいそうだと思っていた。 ・日本以外の国について知りたいと思ったことはなかったけど、興味がわいた。 	
(授業後)	
<ul style="list-style-type: none"> ・パラグアイの高校生の絵を見て、親近感がわいた。 ・世界のいろいろな国のことを知りたいと思った。 ・いろいろな国に行ったことがある人の話を聞いてみたいと思った。 ・パラグアイの人たちの生活を知って、幸せは物が溢れていることでないんだなと感じた。 ・カテウラ楽団みたいな青少年に夢を与えられる活動にいつか参加してみたいと思った。 ・将来の夢や目標は誰でも持っていると思っていたのに、生活がきちんとできているからこそ、夢や目標を持つことができるのだと知った。 	

【8】 自己評価

1. 苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・パラグアイでの研修を生かしての授業を行い、そこから生徒たちに、これからの生き方について何かを学んでほしいと考えたので、授業の組立てに苦勞した。 ・授業時間を確保するために、教材を英語で作成した（カテウラ楽団について）教材の写真は、教員が現地でも撮ってきたものを使用した。
----------	---

2. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・「豊かな社会」について考える前に、何かきっかけを作っておくことの必要性を感じた。カテウラ楽団と日系社会について知ってほしかったので、少し強引な形での授業になってしまった感もある。
3. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の生徒は、自分たちの地域にしか関心がない内向的な生徒が多いため、少しでも、世界のことに興味を持ってもらえる機会にしたいと思った。実際に、私がパラグアイに行くことで、渡航前・渡航後と授業をすることができ、良い機会になったのではないかと考えている。今後も、「世界の中の日本人」ということを意識させて生きたいと考えている。
4. 備考（授業者による自由記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・パラグアイだけでなく、ほかの国についても考えさせることを行っていきたいと思った。 ・海外移住資料館から多くの資料をお借りしていたので、映像なども見せる時間があれば、もっと学びが深くなったのではないと思う。 ・学年日より（保護者宛）に、パラグアイで感じたことをまとめ、学年の保護者に配布した。 ・パラグアイ滞在中に、イラストをまとめたものを参考に、1枚にまとめ、学校の同僚や、研修会（四国国際理解教育研究会）などで配布した。

添付資料：

特定非営利活動法人 開発教育協会 「豊かさと開発 Development for the Future」

JICA 編 紙芝居「海を渡った日本人」

JICA 横浜 海外移住資料館蔵 「夢と希望を運んだ船 ～移民船での暮らし」



参考資料：

JICA 横浜 海外移住資料館 「パラグアイ国イグアス移住地入植の手引き」

〃 「明日の国 パラグアイ」「パラグアイ移住読本」

〃 南米の新天地 [海外移住映像資料]

“Recycled orchestra of Cateura”

Do you know “Recycled Orchestra of Cateura”? Cateura is one of the poorest towns in Asuncion, the capital of Paraguay.



There is a huge landfill in this town. 2500

families live in the mountain of trash. People there make a living by scavenging trash and selling them.



Children in Cateura live in a harsh environment filled with crime and violence. It is difficult for them to find the meaning to their life. They didn't used to have hope for their future. They could not go to school because they had to help their parents collect garbage.

Favio Chaves, an environmental engineer wanted to do something for children in Cateura. He loved music, so he wanted to give children music lessons. Favio, however didn't have enough musical instruments. A violin is more



expensive than a house in Cateura. People there make everything they need out of the garbage; even houses. Favio got an idea and he asked



his friend Nicolas to make instruments out of trash. Nicolas was good at making things using trash. He turned oilcans and wood pieces into cellos; pancake cans and folks into violins. The sounds by these exocentric instruments sounded so beautiful. Nicolas felt happy when he saw children playing with these recycled instruments happily.

In 2006, Favio formed an orchestra, called "Recycled Orchestra of Cateura." Soon more and more children joined this orchestra. Favio wants children learn to have goals for their future.

This Recycled orchestra became popular in the world. The children



performed in Canada, U.S and even in Japan.

The children are very proud to be members of this orchestra. One girl said, "My life would be

meaningless without music." A lot of children learn to have goals for their future; entering universities, becoming musicians and so on.

Favio Chaves said, "The world sends us garbage. We send back music!" Favio and the children in Cateura are trying to solve the big problem, poverty by their own



“Recycled orchestra of Cateura”

① Do you know “Recycled Orchestra of Cateura”? Cateura is one of the poorest towns in Asuncion, the capital of Paraguay.



There is a huge landfill in this town. 2500

families live in the mountain of trash. People there make a living by scavenging trash and selling them.

words & phrases

recycle (動詞) リサイクルする orchestra (名詞) オーケストラ

* recycled orchestra リサイクルのオーケストラ

Cateura (地名) カテウラ

poor < poorest (形容詞) _____ (poorest 最上級) one of the poorest town 最も貧しい街の1つ

Asuncion (地名) アスンシオン

capital (名詞) 首都 Paraguay (国名) パラグアイ

huge (形容詞) _____

landfill (名詞) 埋め立て・ごみ処理場

trash (名詞) くず・ガラクタ

make a living 生計を立てる make a living by ~ing ~して生計をたてる

scavenge (動詞) [発音スキャヴェンヂャ] (有用な物) をごみの中から探す



② Children in Cateura live in a harsh environment filled with crime and violence. It is difficult for them to find the meaning to their life. They didn't used to have hope for their

future. They could not go to school because they had to help their parents collect garbage.

words & phrases

harsh (形容詞) _____

environment (名詞) _____

filled with ～でいっぱいである crime (名詞) 犯罪 violence (名詞) 暴力

filled with crime and violence 犯罪と暴力でいっぱいの

difficult (形容詞) 難しい It is A for 人 to ～ 人にとって～するのはAだ

meaning (名詞) _____

used to ～ ～だったものだ・～するのになれている didn't used to ～ ～するのになれていなかった

future (名詞) 未来

had to ～ ～しなければならない

help 人 動詞の原型 人が～するのを手伝う

③ Favio Chaves, an environmental engineer wanted to do something for children in Cateura. He loved music, so he wanted to give children music lessons. Favio, however didn't have enough musical instruments. A violin is more expensive than a house in Cateura. People there make everything they need out of the garbage; even houses.

④ Favio got an idea and he asked his friend Nicolas to make instruments out of trash. Nicolas was good at making things using trash. He turned oilcans and wood pieces into cellos; pancake cans and folks into violins. The sounds by these exocentric instruments sounded so beautiful. Nicolas felt happy when he saw children playing with these recycled instruments happily.

words & phrases

Favio Chaves (人名) ファビオ・チャベズ an environmental engineer (職種) 環境工学者

enough (形) 十分な musical instruments 楽器 expensive (形) _____

make out of ~ ~から作る

make everything (they need) out of garbage 必要なものをすべてごみから作る

get an idea ~と考える ask 人 to ~ 人に~するように頼む

be good at ~ing ~するのが得意である turn A into B AをBに変える

wood pieces 木片 eccentric (形) 風変わりな beautiful (形) 美しい

felt < feel ~と感じる see(saw) 人 ~ing 人が~するのを見る (見た)

⑤ In 2006, Favio formed an orchestra, called "Recycled Orchestra of Cateura." Soon more and more children joined this orchestra. Favio wants children learn to have goals for their future.

⑥ This Recycled orchestra became popular in the world. The children performed in Canada, U.S and even in Japan. The children are very proud to be members of this orchestra. One girl said, "My life would be meaningless without music." A lot of children learn to have goals for their future; entering universities, becoming musicians and so on.

⑦ Favio Chaves said, "The world sends us garbage. We send back music!" Favio and the children in Cateura are trying to solve the big problem, poverty by their own.

words & phrases

form(動詞) 形づくる called ～と呼ばれる more and more より多くの

join (動詞) _____ want 人 to～ 人に～してほしい

learn to ～ ～することを学ぶ goals for the future 将来の目標

popular (形容詞) _____ perform (動詞) _____

proud to be ～ ～であることに誇りを持っている

meaningless (形容詞) 意味がない without ～なしでは

My life would be meaningless without music.

() がなかったら私の () は意味がないものになるだろう

learn to ～するようになる have goals for their future 将来の目標を持つ

enter universities (university) 大学に入学する musician(s) (名詞) _____

and so on ～など

solve the big problem 大きな問題を解決する

poverty (名詞) poor の名詞 _____

by their own 彼ら自身で

“Recycled orchestra of Cateura”

① Do you know “Recycled Orchestra of Cateura”? Cateura is one of the poorest towns in Asuncion, the capital of Paraguay.



There is a huge landfill in this town. 2500

families live in the mountain of trash. People there make a living by scavenging trash and selling them.

words & phrases

recycle (動詞) リサイクルする orchestra (名詞) オーケストラ

* recycled orchestra リサイクルのオーケストラ

Cateura (地名) カテウラ

poor < poorest (形容詞) _____ (poorest 最上級) one of the poorest town 最も貧しい街の1つ

Asuncion (地名) アスンシオン

capital (名詞) 首都 Paraguay (国名) パラグアイ

huge (形容詞) _____

landfill (名詞) 埋め立て・ごみ処理場

trash (名詞) くず・ガラクタ

make a living 生計を立てる make a living by ~ing ~して生計をたてる

scavenge (動詞) [発音スキャヴ'エンヂャ] (有用な物) をごみの中から探す



② Children in Cateura live in a harsh environment filled with crime and violence. It is difficult for them to find the meaning to their life. They didn't used to have hope for their

future. They could not go to school because they had to help their parents collect garbage.

words & phrases

harsh (形容詞) _____

environment (名詞) _____

filled with ～でいっぱいである crime (名詞) 犯罪 violence (名詞) 暴力

filled with crime and violence 犯罪と暴力でいっぱいの

difficult (形容詞) 難しい It is A for 人 to ～ 人にとって～するのはAだ

meaning (名詞) _____

used to ～ ～だったものだ・～するのになれている didn't used to ～ ～するのになれていなかった

future (名詞) 未来

had to ～ ～しなければならない

help 人 動詞の原型 人が～するのを手伝う

③ Favio Chaves, an environmental engineer wanted to do something for children in Cateura. He loved music, so he wanted to give children music lessons. Favio, however didn't have enough musical instruments. A violin is more expensive than a house in Cateura. People there make everything they need out of the garbage; even houses.

④ Favio got an idea and he asked his friend Nicolas to make instruments out of trash. Nicolas was good at making things using trash. He turned oilcans and wood pieces into cellos; pancake cans and folks into violins. The sounds by these exocentric instruments sounded so beautiful. Nicolas felt happy when he saw children playing with these recycled instruments happily.

words & phrases

Favio Chaves (人名) ファビオ・チャベズ an environmental engineer (職種) 環境工学者

enough (形) 十分な musical instruments 楽器 expensive (形) _____

make out of ~ ~から作る

make everything (they need) out of garbage 必要なものをすべてごみから作る

get an idea ~と考える ask 人 to ~ 人に~するように頼む

be good at ~ing ~するのが得意である turn A into B AをBに変える

wood pieces 木片 eccentric (形) 風変わりな beautiful (形) 美しい

felt < feel ~とを感じる see(saw) 人 ~ing 人が~するのを見る (見た)

⑤ In 2006, Favio formed an orchestra, called "Recycled Orchestra of Cateura." Soon more and more children joined this orchestra. Favio wants children learn to have goals for their future.

⑥ This Recycled orchestra became popular in the world. The children performed in Canada, U.S and even in Japan. The children are very proud to be members of this orchestra. One girl said, "My life would be meaningless without music." A lot of children learn to have goals for their future; entering universities, becoming musicians and so on.

⑦ Favio Chaves said, "The world sends us garbage. We send back music!" Favio and the children in Cateura are trying to solve the big problem, poverty by their own.

words & phrases

form(動詞) 形づくる called ～と呼ばれる more and more より多くの

join (動詞) _____ want 人 to～ 人に～してほしい

learn to ～ ～することを学ぶ goals for the future 将来の目標

popular (形容詞) _____ perform (動詞) _____

proud to be ～ ～であることに誇りを持っている

meaningless (形容詞) 意味がない without ～なしでは

My life would be meaningless without music.

() がなかったら私の () は意味がないものになるだろう

learn to ～するようになる have goals for their future 将来の目標を持つ

enter universities (university) 大学に入学する musician(s) (名詞) _____

and so on ～など

solve the big problem 大きな問題を解決する

poverty (名詞) poor の名詞 _____

by their own 彼ら自身で



ジカ

PARAGUAY

2017.AUG 2 ~ 12.

JICA 4国 教師海外研修に参加して
パラグアイを訪問しました。

グアラニー語

Mbá éichapa?
こんにちは
Che rena

スペイン語
Buenos días.

公用語は2つ

40時間

成田 → アメリカ → ブラジル → パラグアイ
13h (アトランタ) 9h (サンパウロ) 3h (アサンシオン)



遠くで近いパラグアイ

1936年6月に入植を開始し、2016年、移住80周年の式典を開催した。
現在7,000人~10,000人の日系人が暮らしている。日本人移住士の1つである、ラ・パスを訪れた。謹んで誠実と尊敬されている。大使や市長になった人も

高知県出身
77才

移住学習



鶴原 光輝 男 さん

ラ・パス日本語学校

- ・現地の公立学校に通いながら週2回日本語を学びに来ている。
- ・ラジオ体操、朝礼、スピーチ
- ・土居高生からの手紙と折紙、高知県立大生の新聞バックを渡しました。
- ・日本のイメージ 清潔、平和、行き来

- ・日本から移住された一世の方たちにお話を伺った。
- ・高校2年生のとき、家族々と移住。
- ・5年、10年したら日本に帰ろう

2ヶ月かけた家族



金のなる木があるらしい

金のなる木とは
元氣 根氣 勇氣
本氣で努力して成果を上げることで気づいた

どんなにお金持ちになっても「みんなのおかげ」と感謝することを忘れてはいけない。人は人と生活してはいいけない、気にいらぬではなく、仲良い友(アミーゴ)になれるように努めてほしい。

テレレ



マテ茶を家族、友人とまわし飲みしながらのんびり話している。
パラグアイの人たちの幸福度は高く、世界1位中になったこともある。

サッカーが大好き



農村の小学校 1年2月~12月
12-1は夏休み
元気いっほいの笑顔
・二部制 午前と午後 選べる

子どもたちに自分の才能を伸ばせる場所を



アペオ、知人氏

音楽を通して夢を持ってプロセス(生き方)を学んでほしい

世界中で公演
大学に行ったり、夢や目標を持ち、子



カテウ楽団

アサンシオン近郊のゴミ処分場
「街の人はゴミ山からプラスチックやダンボールを拾って生活している地区 カテウ」

地元の人 近よらぬような地区

不要なものを使って楽器を作り楽団を!?



1年 学年だより

1学年主任 越智 由佳

2学期が始まりました。学校行事が多く、いちばん長い2学期を大切に過ごしてほしいと思います。久しぶりに、生徒たちの元気な様子を見ることができ、また学期最初の『身だしなみ指導』も終えることができました。運動会も暑いようですが、暑さ対策をしっかりとって乗り切りたいと思っています。



パラグアイに、 行って来ました！

JICA（国際協力機構）四国主催の「教師海外研修」に参加し、約10日間パラグアイを訪問してきました。この研修は、実際に開発途上国を訪問し、その国の現状や国際協力の現場や日本との関係を学び、その経験を次世代を担う生徒への開発教育に活かすというものです。平成25年にモンゴルでの研修にも参加して以来、私のライフワークとしてこの開発教育（国際理解教育）に携わっています。

今回、出発前には、土居高生とパラグアイのことについて少し学び、日本語学校の生徒さんたちに手紙や折り紙を用意して持ちました。

今後、生徒とともに国際理解教育を行っていきたいと思います。

パラグアイにて



面積は、日本の1.1倍、
人口約680万人。

高い山がないので、その広大な国土にまず圧倒されました。

1936年から、両国の移民協定による日本人の移住がはじまり、現在も約7000人以上の日系人が暮らしています。未開の地を苦勞して開墾し、現在は、大規模機械化農業に成功し、大豆や小麦を栽培されています。四国出身の移住された方たちにお会いしたのですが、その誠実さや勤勉さを感じ、この国で日本人が尊敬されているというのが理解できました。

また、パラグアイは、「幸福度」が世界一になったこともあります。（米世論調査企業ギャラップ社）国民のプラス思考や人生への前向きな態度などが評価されています。パラグアイ人のお宅へのホームステイをしたのですが、「テレレ」とよばれるマテ茶の回し飲みをしながら、時間を気にせず、家族や仲間と話しながら時間を共有しながら、のんびり過ごすライフスタイルをうらやましく思いました。毎日せわしなく動く私たち日本人が、幸せな生活を送るために学ぶべき点も多く感じました。

これからの予定

9月4日（月）運動会予行

7日（木）運動会準備（予備日） 13日（水）漢字テスト

5日（火）運動会準備 10日（日）国体 つなひき

20日（水）漢字テスト・身だしなみ指導

6日（水）運動会 11日（月）修学旅行説明会

25日（月）2学期中間考査発表

学校生活などについて、お問合せなどがある場合は、学校の代表電話(0896-74-2017)に、放課後できるだけ早い時間に、担任または、1年学年団までお願いいたします。